

ジュニアアスリートの成長を応援するスポーツマガジン

# スポエール!

*Cheer to all Junior Athletes!*

TAKE FREE

2024.05

vol.7

全てのスポーツの可能性を広げる

[小学生ラグビー]

## 生野スポーツアカデミー

大阪府／大阪市生野区

■チーム紹介

大阪市立三稜中学校 [男子バスケットボール]

大阪府／大阪市住吉区

中条ウイングスキッズ [幼児・学童野球]

大阪府／茨木市

[巻頭特集] 第4回 6年生最後のオールスター大会

関西学童野球交流会 TSUNAG ベースボール

# 世界一の笑顔を 未来へつなげたい。

■自宅でできるトレーニング

「身体の使い方が爆上がり!!」

手足の連動性を高めるトレーニング



Athlete Works for Jr.

# 中学生個別指導トレーニング アスリートワークス フォロワー1万人突破!!



今すぐフォローして  
練習のレベルを  
アップしよう!

スポーツを頑張る子どもたちに伝えたい  
運動能力を上げるトレーニングメニュー発信中!

足を早くする

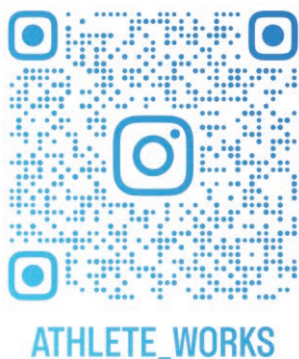
跳躍力UP

瞬発力UP

しなやかな身体

柔軟性UP

バランス強化



ATHLETE\_WORKS

アスリートワークスは

スポーツを頑張る子どもたちを応援しています!

Athlete Works for Jr. 中学生個別指導トレーニング

お問い合わせ電話番号

06-7506-9864

受付時間 11:00~21:00(日曜・祝日は店休日)



HP

LET'S TRY PROGRAM!!

まずは私達が提供する見学・体験会にご参加下さい。

アスリートワークスでは、数ヶ月あるプログラムを実際に見学・体験いただくことができます。  
ご自身がどれだけ自分の身体を理解し、動かす事が出来るか是非この機会にお申し込みください。

ジュニアアスリートの成長を応援するスポーツマガジン

[ スポエール! ] では広告掲載のご相談、選手・チームの取材依頼を募集しています!

媒体  
概要

- フリーペーパー(無料)
- 年4回発行
- A4版カラー12ページ
- 発行部数10,000部

アスリートサポートジャパンへ電子メールで応募ください。

件名欄に必ず「広告掲載依頼」または「取材依頼」と記載してください。

✉ info@athletesupport-japan.or.jp



発行 Athlete Support Japan

一般社団法人 アスリートサポートジャパン 〒530-0028 大阪市北区万歳町4-12浪速ビル5F



# 今年も世界一笑顔が溢れた

## 6年生最後

### の

# オールスター大会

令和6年第4回大会開催！ 万博記念公園グラウンド

2024.3.16-17

主催



キッズベースボールランド推進協議会

関西学童野球交流会  
TSUNAGベースボール

代表 山本 健太  
TEL.06-4808-5850  
Mobile.090-8826-7007  
tsunag89@gmail.com



もっとつながれ！

もっと楽しく！

昭和時代の少年野球といえばいわゆるスボ根。  
大声で怒鳴られながら汗と泥にまみれ、水も飲  
ませてもらえず千本ノック！たるんでいようも  
のなら連帯責任で全員ケツパット！鬼監督の熱  
血指導、愛のム子です。  
やや極端な書き方をしましたが、当たらずとい  
えども遠からずでしょう。根性論をすべて否定  
するわけではありませんが、昔ながらの悪しき  
風習やイメージを払拭して「もっと野球を楽し  
く！」と考えた指導者たちが集まり、10年ほど  
前に結成したのが「関西学童野球交流会  
TSUNAGベースボール」です。代表を務める  
山本健太氏にお話を伺いました。





## みんながスターになって輝く 小学生最後の大会

「各地の学童野球チームがつながり、交流試合などを行っていましたが、ご承知のとおり2020（令和2）年3月に新型コロナウイルス感染症がパンデミックとなりました。大会も練習試合もすべて中止、グラウンドも閉鎖。子どもたちが野球をする機会がコロナによって奪われました。それどころか学校の行事もなくなり、友達と遊ぶことさえままならない状況が長く続きました。やむを得ないとはいえ、なんとか子どもたちに、せめて6年生には最後に楽しい思い出を作ってやりたい。周囲の大人たちの気持ちがつながり、みんなの協力によって実現したのが『6年生最後のオールスター大会』です」と山本代表が経緯を教えてくださいました。

大会終了後、「また開催してほしい」という声があちこちから聞こえてきたといいます。その期待の大きさを山本代表は自身が指導するチームを離れ、「TSUNAGベースボール」の活動に注力することを決めました。飲食店を営むかたわら野球のユニフォームやTシャツを制作する事業を新たに始め、その収益の大半を「TSUNAGベースボール」の運営費に充てるという熱の入れようです。「ユニフォームは品質と機能性を追求し、かつリ-



ズナブルな価格でご提供できるよう試行錯誤しながら作っています。デザインも昭和風ではなく、今どきの子どもたちにカッコイイと思ってもらえるようこだわっています。そうしたセンスの良さも野球のイメージアップになるでしょうし、ユニフォームに憧れて野球を始める子どもたちもいると思うのです」と話す山本代表。

少子化に加えて野球離れも危惧される昨今、オールスター大会は6年生だけで1チームをつくれない合同チームでの参加が多いのも特徴です。一人でも多くの子どもが参加できるよう大会運営にも工夫を凝らしています。第1回大会は20チームが参加。第4回を迎えた今年は40チームが出場しました。

### 6年生300人の笑顔が溢れた 第4回オールスター大会

40チーム、300人の小学6年生が春の万博記念公園に集まり、4年目となる「6年生最後のオールスター大会」が開催されました。大阪府外からは兵庫県5チーム、三重県3チーム、京都府からは複数チーム混合の女子選抜チームが出場。回を追うごとに参加人数が増え、エリアも広がっています。ちなみに、全体における合同チームの数は男子16



チーム、女子3チームです。所属チームは違っても、子ども同士すぐに打ち解けます。

みんながスターになれるこの大会には独自のルールがあります。

まず、小学生の体力などを考慮して1試合6イニング制。同点の場合はジャンケンで勝敗を決めます。そして、全員打順。たとえば15人いるチームは1番から15番まで全員が打席に立ちます。さらに、リエントリー制で一度ベンチに下がってもまた試合に出ることができます。つまり、全員参加の野球。みんながスターメン、みんながスター、だからみんなの笑顔が溢れる大会なのです。

「この大会は私たち『関西学童野球交流会 TSUNAGベースボール』が主催していますが、この団体自体が有志の集まりですし、参加チームを含め、皆さんのご協力がなければ成り立たない大会です。私たちは準備、設営、誘導、後片付けなどを担当していますが、グラウンド整備や審判は参加チーム全員で協力して行います。ベースとラインカー以外の備品も各チームで貸し出し。また、試合に使用するボールの他、子どもたちへの賞品としてバットやグローブ、スポーツウエア、プロ野球チームのグッズや選手のサインなども協賛品としてご提供いただいております。感謝の気持ちでいっぱいです」と山本代表は話します。





## 3年生から6年生の

### 「関西学童野球交流大会」も開催

「TSUNAGベースボール」の地道な活動が共感を呼び、スポンサーに名乗り出てくれる企業や協力してくれる社会人チームも現れ、活動はさらに広がりをかせています。

「オールスター大会」は毎年3月に行っていますが、6月から12月にかけては小学3年生から6年生の「学年ごとの『関西学童野球交流大会』を開催しています。ただ、今はどのチームも9人というメンバーをそろえるのがとても大変なので、3年生の大会では6人制野球も採用しています。つまり、守備は内野だけで外野はなし。3年生だと打ってもまだそんなに飛ばないので可能なんです」と山本代表。

さらに、3年生と4年生の大会は1回負けたら終わりのトーナメント制ではなく、総当たりのリーグ戦を導入するとともにダブルヘッダーも取り入れ、みんなが活躍できる野球を追求しているといえます。

### 子どもたちとともに

活動が広がるにつれて、山本代表らの夢も大きくふくらんでいます。

「関西学童野球交流大会に参加してくれているチームから選抜チームを結成し、今年初めて『N・PRIDE CUP』という西日本地区の選抜チームが集結する大会に出場を果たしました。今後も子どもたちとともに「TSUNAGベース

# 子どもが つながれば、未来がつながる。

ボール」をさらに価値あるものに育てていけたら嬉しいですね」

### TSUNAGに込めた願い

おとながつながれば、子どもがつながる。子どもがつながれば、未来がつながる。「TSUNAGベースボール」のスローガンです。

「今、私たち大人が子どもたちを導くこと。その指導や想いを受けた子どもたちが大きくなったとき、また次の世代の子どもたちに想いをつないでいってくれたら素晴らしいと思うのです。それが『TSUNAG』に込めた大きな願いです」と語る山本代表の瞳は野球少年のように輝いていました。



# Players interview



今大会に参加した約320人の選手の中から  
3名の選手に3つの質問に答えてもらいました。

Q1.6年生最後のオールスター大会ってどんな大会?

Q2.中学野球ではどんな選手になりたいですか?

Q3.最後にこの大会にメッセージをどうぞ

**A1.**前からこの大会を見ていて、とても楽しそうだなと思っていました。中学校で戦うかもしれないし、もしかすると同じチームになるかもしれないので、最後に知り合う機会ができて、とてもいいと思います。

**A2.**声とバッティングでチームをけん引して、勝利に導く選手になりたいです。

**A3.**この大会を、僕たちに開いてくれありがとうございます。僕たちにとってはいい経験になるので、これからも続けて開いてください。僕も中学校を卒業するころには、審判や試合の手伝いをしながら、この大会を近くで見たいと思います。



大阪アンビシャス  
どい かん た  
土井 敢太 選手

**A1.**私はソフトボールをしてるのですが、兄が山本さんにお世話になっていたので、その縁でこの大会に声をかけてもらいました。めっちゃ良い大会です。野球は上手くできないけど、野球をするきっかけになりました。他の子もきっと野球を始めるきっかけになると思います。

**A2.**ソフトボールでエースピッチャーになることです。

**A3.**私は人見知りだからなかなか友達ができないけど、野球を通じていろんな子と友達になれたし、野球をプレーするきっかけになりました。将来野球を始めた時、ここにいる選手とまた出会えたらいいなと思います。ありがとうございました。



佃ホワイトスターズ  
い ぶ り  
飯降 ゆず花 選手

**A1.**この大会を作ってくれてありがとうございます!出ることができて嬉しいです。チーム以外の選手がたくさんいるので、友達を作る最後のチャンスができました。

**A2.**いろんなポジションを守れる選手です。バッティングでは繋いで次につなげる選手になりたいです。

**A3.**僕たちが野球をできる環境を作ってくれてありがとうございます。参加するとたくさんの友達ができるきっかけになると思うのでこれからも続けてほしいです。もっと参加してもらえるように、頑張って宣伝します。



北ナニワハヤテタイガース  
も り お か ゆ う と  
森岡 雄飛 選手

おとなが つな が れ ば、子 ども が つ な が る。



関西学童野球交流会  
TSUNAGベースボール代表  
山本 健太氏

## MESSAGE

一人ひとりの夢を  
未来にTSUNAG

コロナ禍で野球を思う存分できなかった子どもたちに、せめてもの楽しい時間を。いや、小学校時代の最後に、一生の思い出に残る最高の時間をつくってあげよう! 関西の熱い指導者たちの想いがきっかけとなり、協力してくださる方々や協賛してくださる企業が現れ、まさに想いがつながって「6年生最後のオールスター大会」が誕生しました。

学童野球は、多くの子どもたちにとって初めての集団競技です。そこには同級生もいれば上級生、下級生もいます。少子化の現代、それは貴重な学びの場であり、子どもたちが心身ともに成長できる機会といえるでしょう。私たちは、努力することの尊さや仲間がいることの素晴らしさを子どもたちに知ってほしいと考えています。勝ち負けも大切ですが、楽しむことはもっと大切です。私たちは、子どもたち一人ひとりの夢が未来につながることを願っています。





RUGBY

生野スポーツアカデミー「大阪市生野区」

# 「好き」から始まる、「楽しい」から広がる、 子どもたちの可能性を育む場所

## トップラグーマンが率いる

## 新生スクール

「生野スポーツアカデミー」は、大阪市生野区の市立東生野中学校を拠点に活動しているラグビースクールです。昨年まで生野ラグビースクールとして活動していましたが、人数減少のため解散してしまいました。その解散を知り、なんとか生野ラグビースクールの想いを継承したいと立ち上がったのが現代表の松井寛将さんです。松井さんは社会人ラグビーの名門チーム出身で、現在は大学チームの監督を務めるトップラグーマン。地元の子どもたちにも



ラグビーの素晴らしさ、スポーツの楽しさをもっと伝えていきたいとの強い思いから引き継ぐことを決めたそうです。  
今、小学3年生から6年生まで、14人の子どもたちが元気にトレーニングに励んでいます。ラグビーを中心に教えていますが、あえて「ラグビースクール」とは名乗っていません。その理由は、また後ほど。

## 「楽しいサイクル」を子どもたちに

生野スポーツアカデミーで教えているのは身体接触のないタグラグビーではなく、タックルもある正規ルールのラグビーです。

本来のラグビーは1チーム15人制で、ポジションは8人のフォワード(FW)と、7人のバックス(BK)に

大きく分けられます。FWにはフロントロー、セカンドロー、バックローと呼ばれるグループがあり、BKにはハーフバック、スリークオーターバック、フルバックと呼ばれるグループがあります。つまり多彩なポジションがあり、個人の特性を生かしたそれぞれの役割で、みんなが活躍できるのがラグビーの魅力といえるでしょう。

でも、中には接触プレーに抵抗のある子や逆にタックルがしたい子など、一人ひとり年齢はもちろん個性も身体能力も違うので、「そこが難しくもあり面白くもある」という松井代表。楽しい夢中になる技術や体力が向上するレベルアップを実感する



さらに楽しい！という「楽しいサイクル」の好循環を目指して、まずは楽しく運動することを基本に置いています。そして身体面だけでなく、相手の思いやる心など、精神面の成長もサポートできるよう心掛けています。

## 幼い頃からの経験が将来に生きる

大学のラグビー部も指導している松井代表。子どもたちと大学生たち、それぞれの練習を見ると、あらためて気づくことがあります。例えば、体の使い方。もう立派なアスリートといえる大学生でも走り方がぎこちないなど、体の使い方が下手な選手はいるそうです。一方、体の使い方が上手な選手は、幼少の頃から何かの運動やスポーツを経験している人が多いと松井代表は感じています。

そうしたことから生野スポーツアカデミーでは、技術よりもまず体の使い方に重点を置いて、一見ラグビーと関係なさそうな運動も数多く取り入れています。子どもたちが将来、たくさんの選択肢の中から本当に夢中になれるスポーツに巡り合えるよう、「運動が好き」「体を動かすことが楽しい」という気持ちを大切に育んでいます。







## 全ての競技の可能性を広げるスポーツアカデミー



### 「スポーツアカデミー」の意味とは

生野スポーツアカデミーのコーチ陣にはトップリーグで活躍していた選手やトレーナー、学校の先生といった指導のプロが集まっています。ほとんどの人が他に仕事を持っていますが、皆さん松井代表との付き合いも長く、思いを共有する同志。全員のチームワークによって子どもたちの健やかな成長をサポートしています。

一方、プロの選手として活躍した人が、引退後はまったく違う職業に就く場合もあります。もちろんそれ自体は素晴らしいことなのですが、長い年月をかけて身につけた技術と知識、プロとしての経験が失われてしまうことは、とてももったいないと松井代表は思います。それらを次の世代に伝えることができれば、そういう場所がもっと増えれば、ラグビー界だけでなくスポーツ界全体の可能性が、何よりも子どもたちの可能性が広がる、と。

だから、こはラグビースクールではなく「スポーツアカデミー」としています。

また、当アカデミーは地元の企業様や団体様からのご支援を募っております。子どもたちの未来のためにご協力をよろしく願います。



### 生野スポーツアカデミー

■ 創 設 2024年4月

■ 代 表 松井寛将(まつい ひろまさ)

■ 所属部員数 14名(小学3・4年9名/小学5・6年5名)

■ 主な活動場所 大阪市立東生野中学校

Instagram



LINE



### MESSAGE

#### ▼松井寛将 代表

このアカデミーの活動を広く知っていただき、子供たちが成長する大切な時期により良いスポーツの場を提供できるよう努めていきます。また、元プロ選手が持つ経験や知識を活かし、次世代の子供たちに指導するセカンドキャリアの場を提供していきたいと考えています。



#### ▼島 嶋 コーチ

子供たちの技術の向上、運動能力の向上、人間的成長に繋がるように子ども達と共に成長していきます！  
VAMOS!!



#### ▼河嶋 コーチ

このアカデミーを通して人として成長して、大きな舞台に立てるように頑張ってください！



#### ▼薦田 コーチ

育成年代に必要な体の使い方を徹底的に指導していきます！  
興味のある方は、ぜひ！





**子どもたちの積極的な行動を支援**

取材に訪れたのは公式戦の日でした。試合前にもかかわらずチームの雰囲気は和気あいあいとしていて、笑顔もこぼれるリラックスムード。白熱した試合の後、子どもたち同士で「あの場面はこうしたほうが」「今度からこうすれば」と積極的な意見を交換し、談笑していました。元気いっぱいチームです。



顧問の尾山一誠先生は、子どもたちに望ましい行動を促したいと考えています。これは「ポジティブ行動支援（PBS：Positive Behavior Support）」という取り組みに基づいたアプローチで、できていないことを指摘するよりも、できていることに着目して褒める。望ましい行動を承認し称賛することで、結果的に望ましくない行動を減らす。そんな考え方です。望ましい行動を示すマトリクスを子どもたち自身が作成し、それに沿った行動を心掛けています。そうした環境を整え、子どもたちが発信する信号をキャッチするのが周りの大人の役目だと尾山先生は言います。

その結果、チーム内のコミュニケーションは一層活発になりました。自分たちがしたいことも自分たちで決めてから先生に相談します。意見が衝突し、言い争いになることもあります。それでもできるだけ自分たちで解決します。子どもたちが主体となつてのびのびとクラブ活動に打ち込んでいます。

一人ひとりが変わり、チームが変わった

チームをまとめる3年生たち。でも入学当初は少々乱暴な言動もあったそうです。尾山先生は話すことから始めました。何がしたいのか、自分の意見をきちんと言うこと。相手の気持ちを考えること。時間はかかりましたが、彼らは変わりました。良い意味で個性がぶつかり合う、元気なチームに育ちました。一人ひとりの個性が強いからこそ、「予想もしない新しい発見があります。彼らは日々、成長しています」と尾山先生は目を細めます。

▼キャプテン 香椎 鷹雅 選手  
（中3 / 179cm・66kg / ポジション・センター）

ミニバスをやっていた友達に誘われてバスケットボール部に入りました。チームメートはみんな個性的で、上手くまとめられるか不安もあるけれど、キャプテンに選んでもらったからには全力で頑張るつもりだし、自分自身も成長できる機会だと思っています。大きく成長して、みんなを支える存在になりたい。勝ち負けも大切です。が、みんながのびのび楽しくバスケットができるチームにすることが僕の一番の目標です！



TEAM  
introduction

BASKETBALL

大阪市 住吉区

**大阪市立  
三稜中学校**  
さんりょう  
**バスケットボール**  
中学男子

代表・監督
尾山一誠 教諭

所 属
大阪府中学体育連盟

所属部員数
29名（3年10名 / 2年9名 / 1年10名）

主な活動場所
大阪市立三稜中学校

この夏はうなぎを食べてスタミナ補給！

**国産特大肉厚うなぎ**

運営会社 / noaru株式会社 福岡市博多区博多駅中央街8番1号JRJP博多ビル3F TEL:0120-407-009 E-mail:support@misara.jp

「みさら」は学生アスリートの成長を食材を通して応援します。

\\ 期間限定! //

**¥1,000OFF**

**クーポンをプレゼント!**

クーポンキーワード **AW2024**

※注文フォームのクーポン記入欄に上記のキーワードをご入力いただくと1,000円値引きされます

※有効期限：2024年8月31日

特大うなぎのお申し込みは

**みさら**



TEAM  
introduction



大阪府 茨木市

# 中条ウイングスキッズ 幼児・学童野球



飽きてしまいます。それよりも5〜10分の運動をたくさんして、少しずつ野球の動きに近づけるよう工夫しているのだそう。失敗してもOK!間違ってもOK!危ない行動以外はすべてOKです。子どもは、いわばトライ・アンド・エラーを繰り返しながら成長するもの。一人ひとりができるようにするまで、チームスタッフ全員でゆつくりとサポートしています。まずは、みんな太陽の下で遊ぼう、楽しく運動しようという方針のようです。

山本達也監督をはじめスタッフ全員、かつてこのチームに自分の子どもを通わせていたといえます。だから子どもの気持ちが理解できるのでしよう。幼稚園の年中から小学1年生が対象のキッズ野球を通じて、全国に元気を広めるのが目標です。



## スポーツの力で子どもたちを元気に

スポーツの選択肢が増えたことや、公園でのボール遊び禁止が増えたことにより、幼少期から野球に触れ合う環境が減少していることを肌で感じている



## イベントを通じて広がる交流の輪

山本監督は、まずは野球というスポーツに幼児の時から親しんでもらうことが重要と考え、学童野球よりも下の年齢の子どもを対象としたキッズの部を立ち上げました。「成長しても野球を続けてくれたら嬉しいですが、野球に触れてスポーツの楽しさを知り、他のスポーツをやってみるのもまた素晴らしいことでしょう」という山本監督。野球をもう一度広めたいという思いはもちろんですが、それ以上に「スポーツの持つ力を広げたい」と願っています。

流行り病で活動自粛を余儀なくされた時期、挑戦する場所や、成長を披露する場所を奪われ、悲しみに泣く子どもたちを見て、なんとも言えない気持ちだったと山本監督はいいます。普段通り過ごす事もできないストレスもあって、気持ちが不安定で落ち込んでいる子ども数多くいたとのこと。やはり、子どもたちの成長に運動やスポーツは欠かせないと再認識したことも、キッズ野球をスタートさせた理由の一つです。

ウイングスキッズでは、さまざまなイベントやお楽しみ会なども定期的に実施しています。「ウイングスブルー」というヒーローが登場して会を盛り上げています。ウイングスキッズは、幼稚園や保育所、小学校から集まってきた年齢も違う子ども同士が自然に仲良くなれる場所。そう、昔はどこにでもあった広場のような。さあ、みんなで野球をしよう!

楽しくトライ&エラー。  
砂遊びだってOK!  
大阪府茨木市を拠点に活動する「中条ウイングス」のウイングスキッズには、小学生はもちろん、幼稚園の年中さんも所属しています。辺りを駆け回ったり、砂遊びをしたり、泣いたり怒ったり…。でも、監督もコーチも叱ったりせず、一緒に走ったりボール遊びをしたり、楽しく和やかな雰囲気の中で運動していました。同じことを長い時間すると、小さな子どもはすぐに



- 創設 2021年5月
- 代表 山田朝久
- 監督 山本達也
- 所属部員数 17名(小学1年生9名、年長7名、年中1名)
- 主な活動場所 中条小学校 他茨木市内グランド



“自然産業”という  
発想で未来を創る。

CREATE THE FUTURE

YOSHU  
GLOBAL GROUP

鋼材流通事業  
人材関連事業  
ものづくり事業





自宅  
できる

身体の使い方が爆上がり!!

## 手足の連動性を高めるトレーニング

Training  
01

## ベアウォーク

前歩き10歩  
後ろ歩き10歩 × 5セットお腹周りに  
効いていると  
ばっちりです!歩幅は小さく、  
背中や頭が  
上下し過ぎない  
ように!

- ① 四つ這いになり、膝を床から5cm程浮かせた状態がスタートポジションです。
- ② その姿勢から対角線の手足を動かして動物のように4足歩行をします。

Point!



体幹の強化と手足の連動性が上がるので、どの競技にもオススメのトレーニングです!!

Training  
02

## スパイダーマン

10歩 × 5セット

踏み出した足は、  
膝とつま先がしっかり  
外側に向けるように  
意識して!スパイダーマンや  
ワニのような  
歩き方を  
イメージして!

- ① どちらかの手足を前、後ろ(写真では左手と右足が前、右手と左足が後ろ)に広げた状態でスタートします。
- ② そこから後ろ側になっている手足(写真では右手と左足が後ろ)を一気に前側に持っていきます。

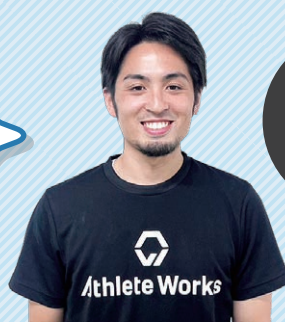
Point!



体幹の強化と手足の連動性、股関節の可動域も広がるので、どの競技にもオススメです!!

基礎を身につけて、怪我の少ない選手が『良い選手』の条件だと思っています!

みなさんが良い選手になれるよう全力でサポートします!



TRAINER  
大垣 光平  
指導経験9年

KOUHEI  
OGAKI

- 取得資格  
食育アドバイザー
- 得意分野  
コンディショニング／不調改善／身体操作性向上
- 指導実績  
高等学校特別授業非常勤講師  
総合格闘技選手や芸能人のコンディショニングとトレーニング





マンション、戸建事業で培ったノウハウを駆使し、空間デザインをブランディング。  
新しいデザインニーズを創造し、オフィス・店舗・住宅・インテリア・ファニチャー・  
CI・ロゴ・名刺・WEBなどのデザインに関することを総合的にプロデュースします。

## こどもたちの未来をデザインする。

「アートデザインスタジオ」の空間づくり〈後編〉



アスリートワークス京橋本店 / 大阪府東淀川区東野田町1丁目2番1号 Kビル2F (京阪電車高槻下・長安幼稚園向い)

「アスリートワークス」という、ジュニアアスリートに特化したトレーニングジムがあります。その京橋本店の空間デザインを手掛けたのが「アートデザインスタジオ」。「0123」で知られるアートグループとして、住宅関連を核に幅広く事業を展開しているアートプランニング株式会社の一翼を担う専門集団です。前号に引き続き、室長の松藤祐貴さんにお話を伺いました。

### こどもたちとともに成長するジムをつくる

「アートデザインスタジオ」は住宅やオフィス、店舗、商業施設、医療・福祉施設など、多彩な空間を創出しています。

私自身これまで、さまざまなジムやスタジオの設計・施工を担当してきましたが、小・中学生を中心としたジュニア特化型のトレーニングジムというのは初めてでした。それが「アスリートワークス京橋本店」です。学校も学年も競技さえも異なる大勢の子どもたちが所属していて、プロのトレーナーによる指導のもと、一人ひとりが夢を目指して頑張っています。

「子どもたちが気軽に集まり、楽しく交流できる場所をつくりたい。」



設計  
施工 アートプランニング株式会社  
執行役員戸建事業推進部長  
アートデザインスタジオ室長  
松藤 祐貴

施主 アスリートワークス代表  
徳丸 博之

子どもたちの心・技・体を育成し、子どもたちとともに成長するようなジムにしたい」と代表の徳丸博之さんは仰いました。私は、その熱い思いに共感したのです。



トレーニングだけでなく中・高校生アスリートの交流の場としての空間でもある。

### 未来に広がる空間を創造する

私たちのデザインは完成すれば終わり、ではありません。むしろ、そこから始まると言ってもいいかもしれません。

クライアントの思いをカタチにした空間に人々が集えば、また新たなニーズが生まれ、可能性が広がります。私たちはその進化に応え続けるために、リニューアルやリノベーションなど、次なるソリューションをご提案する準備を常にしています。「すべては、人と街のために。」を理念とするアートプランニングだからこそ、そのネットワークを生かした物件探しも可能です。地域性を考慮したデザイン、空間にとどまらないトータルプロデュース、プランニングからアフターフォローまでお任せください。

クライアントの良きパートナーとして未来に広がる空間づくりを目指して。それが私たち「アートデザインスタジオ」のスタイルです。

